

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

Claims

1. Guiding structure in which a lead wire of an F-cable is connected to a terminal board, said F-cable being fixed by a wire stopper, characterized in that said wire stopper is formed with a guide for guiding said lead wire towards a connecting hole of said terminal board.
2. The guiding structure for said lead wire as described in claim 1, characterized in that said guide has a tip end branched into a plural number.
3. The guiding structure for said lead wire as described in claim 1, characterized in that said guide is made of a transparent member.

Brief Description of the Drawing

Fig. 1 is a perspective view of an exterior unit, Fig. 2 is a perspective view of a state of mounting a wire stopper and a guide in this invention, Fig. 3 is a side view of a state of connecting a lead wire in a similar way, and Fig. 4 is a top view of a state of connecting a lead wire in a prior art.

In the figures, 1 represents an exterior unit, 2 representing electrical equipment portion, 3 representing a terminal board, 4 representing an F-cable, 5 representing a lead wire, 6 representing a connecting hole, 7 representing a wire stopper, 8 representing a guide.

公開実用平成 3-110772

②日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

②公開実用新案公報 (U)

平3-110772

④Int. Cl. 3

H 01 R 13/46
9/28
13/58
H 02 G 3/18

識別記号

301 M
Z

府内整理番号

8425-5E
8832-5E
8425-5E
7028-5G

④公開 平成3年(1991)11月13日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 頁)

④考案の名称 リード線の案内構造

②実 願 平2-19717

②出 願 平2(1990)2月28日

④考 案 者 青 木 正 夫 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネ

ラル内

④出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

明細書

1. 考案の名称

リード線の案内構造

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) Fケーブルのリード線を端子盤に接続し、上記Fケーブルを配線止めによって固定してなるものにおいて、上記配線止めに上記リード線を上記端子盤の接続穴へ案内するガイドを形成したことを特徴とするリード線の案内構造。

(2) 上記ガイドの先端を複数に分岐してなることを特徴とする請求項(1)に記載のリード線の案内構造。

(3) 上記ガイドを透明の部材により成形してなることを特徴とする請求項(1)及び(2)に記載のリード線の案内構造。

3. 考案の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本考案はFケーブルのリード線の端子盤への案内方法に関するものである。

「従来の技術」

従来、Fケーブル21のリード線22を端子盤23に



794

接続する場合、上記端子盤23のリード線22を接続する夫々の接続穴24に上記リード線22を差し込んで接続し、配線止め25によりFケーブル21を固定するようにしていた。

しかし、この場合、上記リード線22を端子盤23の接続穴24に差し込む際、上記接続穴24を下方より覗いて、接続穴24の位置を確認しながらリード線22を差し込まなければならず、作業性が悪く、また、リード線22同士の接触により短絡する恐れがあるという欠点を有していた。

「考案が解決しようとする課題」

本考案は上記問題点に鑑み成されたものであって、リード線の接続を容易に行うことができ、短絡する恐れのないリード線の案内構造を提供することを目的とする。

「課題を解決するための手段」

上記問題点を解決するため本考案にあっては、Fケーブルのリード線を端子盤に接続し、上記Fケーブルを配線止めによって固定してなるものにおいて、上記配線止めに上記リード線を上記端子



盤の接続穴へ案内するガイドを形成したことを特徴とする。また、上記ガイドの先端を複数に分岐させ、透明の部材により成形してなる。

「作用」

上記構成により本考案にあっては、配線止めを所定の位置に配設すると共に、この配線止めに形成したガイドの先端を端子盤の接続穴に差し込み、Fケーブルのリード線を上記ガイドを通して上記端子盤の接続穴に差し込み接続し、Fケーブルを上記配線止めを締めることにより固定させる。

「実施例」

以下、本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。

1 は室外ユニットで、この室外ユニットの一側面には電装品部 2 が設けられていて。3 は端子盤で上記電装品部 2 内に配設されており、この端子盤 3 には F ケーブル 4 のリード線 5 を接続するための接続穴 6 が穿設されている。7 は配線止めであって、この配線止め 7 には上記 F ケーブル 4 のリード線 5 を上記端子盤 3 の接続穴 6 に案内する

公開実用平成 3-110772

ためのガイド 8 が形成されている。このガイド 8 は先端を複数に分岐形成され、同ガイド 8 内が見えるように透明の部材により成形されている。

従って、ガイド 8 の先端をを接続穴 6 に差し込み、このガイド 8 を通してリード線 5 を上記接続穴 6 に差し込み接続する。

「考案の効果」

以上のように本考案にあっては、配線止めにリード線を端子盤の接続穴に案内するガイドを形成したので、リード線をガイドに通すだけで端子盤の接続穴に差し込まれるので、従来のように接続穴を覗きながらリード線を差し込むといった面倒が無くなり、作業性の向上を図ることができる。また、ガイドを通して接続するためリード線の接触を防ぎ短絡を防止することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は室外ユニットの斜視図、第2図は本考案における配線止め及びガイド設置時の斜視図、第3図は同じくリード線接続時の側面図、第4図は従来のリード線接続時の上面図である。



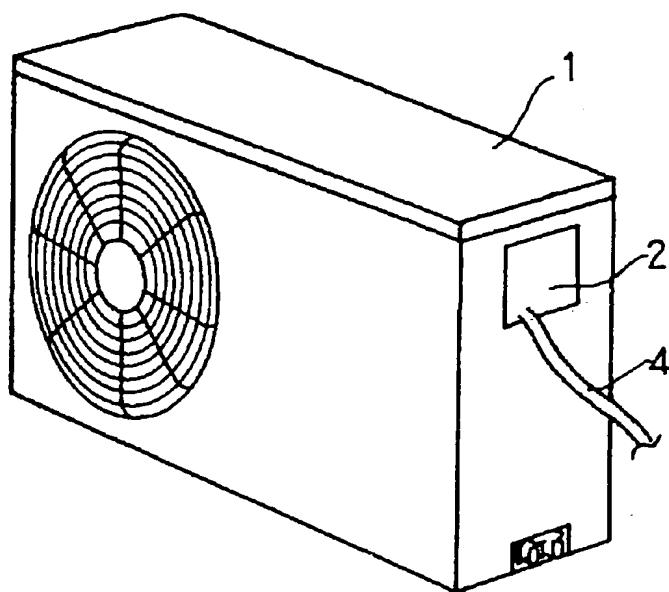
同図中、1は室外ユニット、2は電装品部、3
は端子盤、4はFケーブル、5はリード線、6は
接続穴、7は配線止め、8はガイドである。

実用新案登録出願人 株式会社富士通ゼネラル

798

公開実用平成 3-110772

第1図



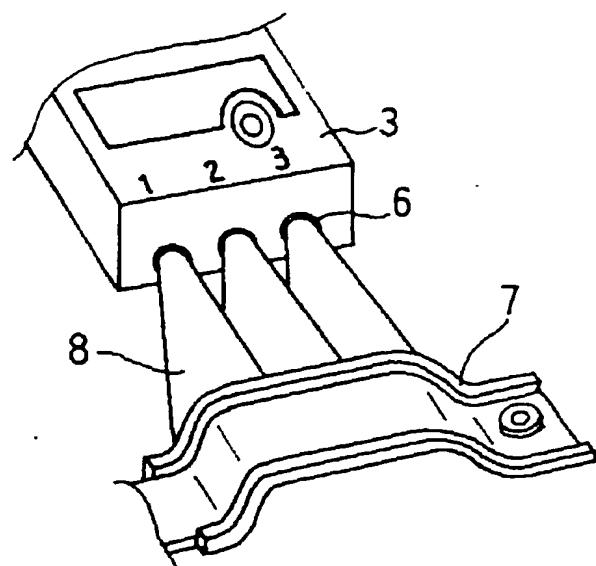
799

実用 3-110772

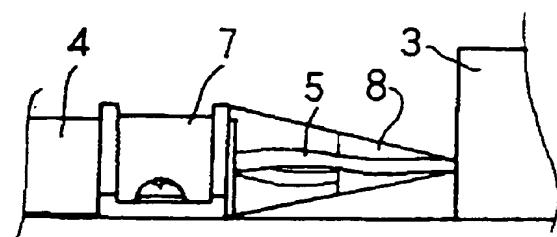
実用新案登録出願人

株式会社富士通セネラル

第 2 図



第 3 図



第 4 図

